

多摩ニュータウン再生 公園・遊歩道活用プロジェクト

社会実験の実施結果について

1. 貝取・豊ヶ丘 社会実験の実施概要

(1) 社会実験実施の経緯

- ・愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画の「公園・遊歩道活用プロジェクト」の取組として、屋外の公共空間の利活用に向けての社会実験を実施した。
- ・「公園・遊歩道活用プロジェクト」は、地域住民の憩いの場となる屋外環境の創出を目指し、公共空間の利活用により地域ニーズに対応した空間のあり方を検討するもので、実施場所は豊ヶ丘・貝取名店街周辺である。

実施場所周辺に立地する豊ヶ丘複合施設では、再整備に向けた基本計画を検討中。



本年度は多摩ランタンフェスティバル2025（10/6～12実施）に合わせて、豊ヶ丘複合施設と連携して公共空間の使い方を考える社会実験を実施

(2) 社会実験の企画趣旨・内容

■今年度の社会実験で目指すこと

- (1) 屋外の公共空間の再整備につながる、良好な空間イメージの提示
- (2) 豊ヶ丘複合施設と屋外空間の一体活用イメージの提示
- (3) 公共空間の本来の機能と共存可能な空間の使い方の検討
- (4) 住民・事業者等の公共空間の利活用ニーズの引き出し

■主な企画内容

- ・滞留空間
- ・マルシェ出店
- ・図書・お絵かき・遊びコーナー
- ・地域ワークショップ 等



2. 貝取・豊ヶ丘 社会実験の実施結果

- 屋外空間を活用する、多様な担い手の掘り起こし・育成
 - ・事業者だけでなく**地域の方による出店**があり、多様な担い手の育成につながる。
- くつろげる空間・賑わいの空間等としての屋外空間の活用ニーズが確認
 - ・社会実験の企画では、**滞留空間**や**マルシェ出店**が多様な世代から好評であった。
 - ・**座ってくつろげる空間**や**イベント等の賑わいの空間**としての活用ニーズが多く見られた。



- ▶**屋外空間の活用の周知・定着**により、地域の**多様なニーズに応じた利活用**が進むことが期待される。
- ▶屋外空間でこうした新たなチャレンジが行われることで、日常の暮らしに「**ちょっとした非日常感**」を感じる空間や活動が生まれ、**多摩ニュータウンでの暮らしの魅力アップ**につながる。

3. 社会実験に協力した課のフィードバック

■協力課：協創推進室、豊ヶ丘児童館、図書館、発達支援室

◎主な意見

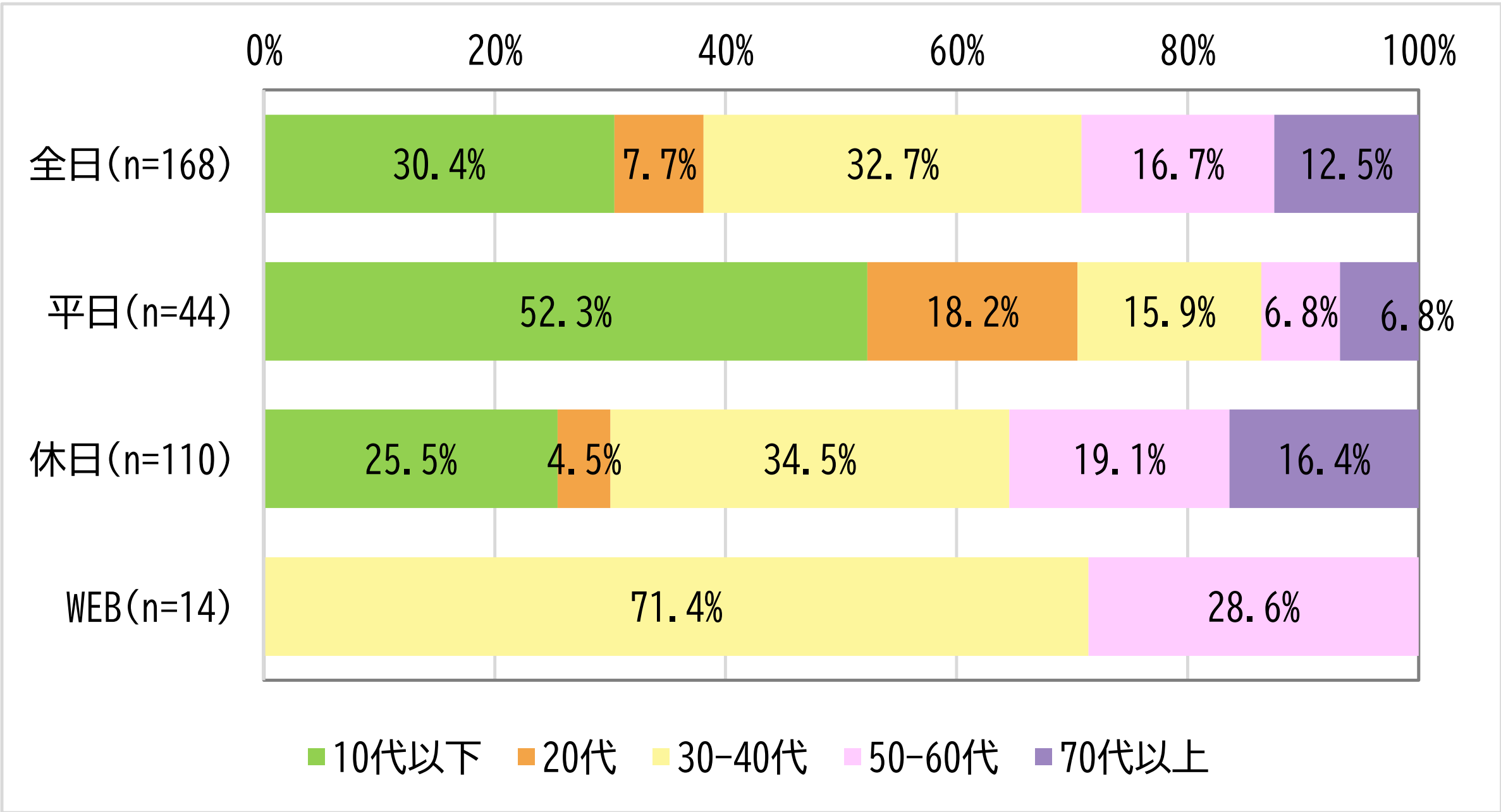
- ・当日は本を読み聞かせる雰囲気ではなかったが、数か月後、ここで出会った子供たちが総合学習で来館し、再会することができた。その際紹介した資料に興味を持ち、後の学校行事での発表につながった。社会実験に参加することで、子供たちと本につながりが生まれ、そして私たちもつながりを持つことができとても良かった。
 - ・豊ヶ丘図書館は高齢者の利用が非常に多く、児童館が併設している割に子どもの利用が少ない場所である。親子連れも少ないのかと思っていたが、今回、子ども連れや親子の参加が多かったので、今後図書館としても何らか工夫し、これらの人達に利用してもらえるようにしたい。
 - ・平日に人工芝を使って運動会イベントを行った。4～5組が参加し、始めは人工芝に慣れなかった子供たちも、芝に慣れると屋外感がなく、とても盛り上がった。
 - ・今回の社会実験の様子を見て、新しい複合施設に雨天時も使える屋根や、電気も使える場所があれば、市場のような活用もできそうだと感じた。月イチのマルシェなど盛り上がるのではないか。また、子どもたちからは、夏は暑さで外遊びができなくなるので、身体を動かすスペースが欲しいという声もあるため、屋根のあるスペースがあれば日常的な子どもものにぎわいも生まれるのではないか。
 - ・来年は発達障害のあるお子さんと参加したい。子どもたちがいつもと違う経験が積める取組が出来ると良いと考えており、一緒に準備したい。
 - ・複合施設の再整備の観点で、施設と連動した屋外、道路空間の新たな使い方のイメージができた。地域住民同士や、住民と職員など多様な人達が交流できる空間や場所をもつ施設像を目指しており、住民（地域）にも職員にも連携協力して関わり合うことに前向きな気づきがあったことも良かった。
- ▶ 今回の取組では、関わった課も地域とのつながり等で一定の成果を感じている。
- ▶ 協力課としては、継続して参加し、次年度以降企画段階から関わりたい。

4. パネルアンケート調査結果

■回答者の年代

◎子どもと親世代の回答が多数

- ▶平日は児童館利用の子ども達が半数を占めている。
- ▶休日は親子連れ（10代以下と30-40代）が多く、50代以上の回答も約4割で、平日に比べて様々な世代に利用いただいている。

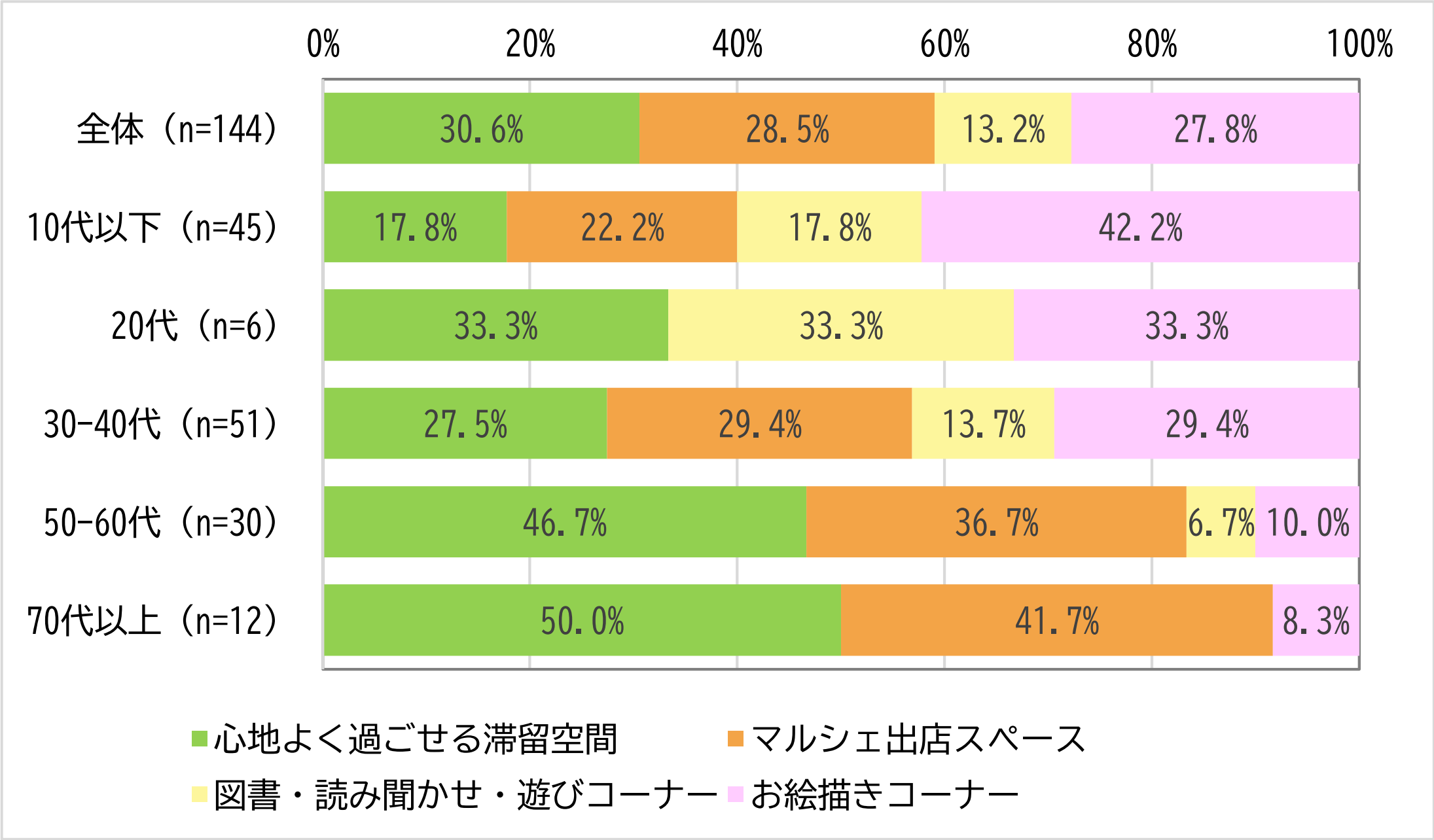


4. パネルアンケート調査結果

■Q1.今回の社会実験の企画で、特に良かったと思うコンテンツ(1つ選択)

◎滞留空間・マルシェ・お絵描きコーナーが人気

- ▶滞留空間やマルシェは、どの世代からも「良かった」との意見が多く、特に50代以上ではこの2つで回答の8割以上を占めている。
- ▶お絵描きコーナーは、子どもや親世代で「良かった」との意見が多くなっている。

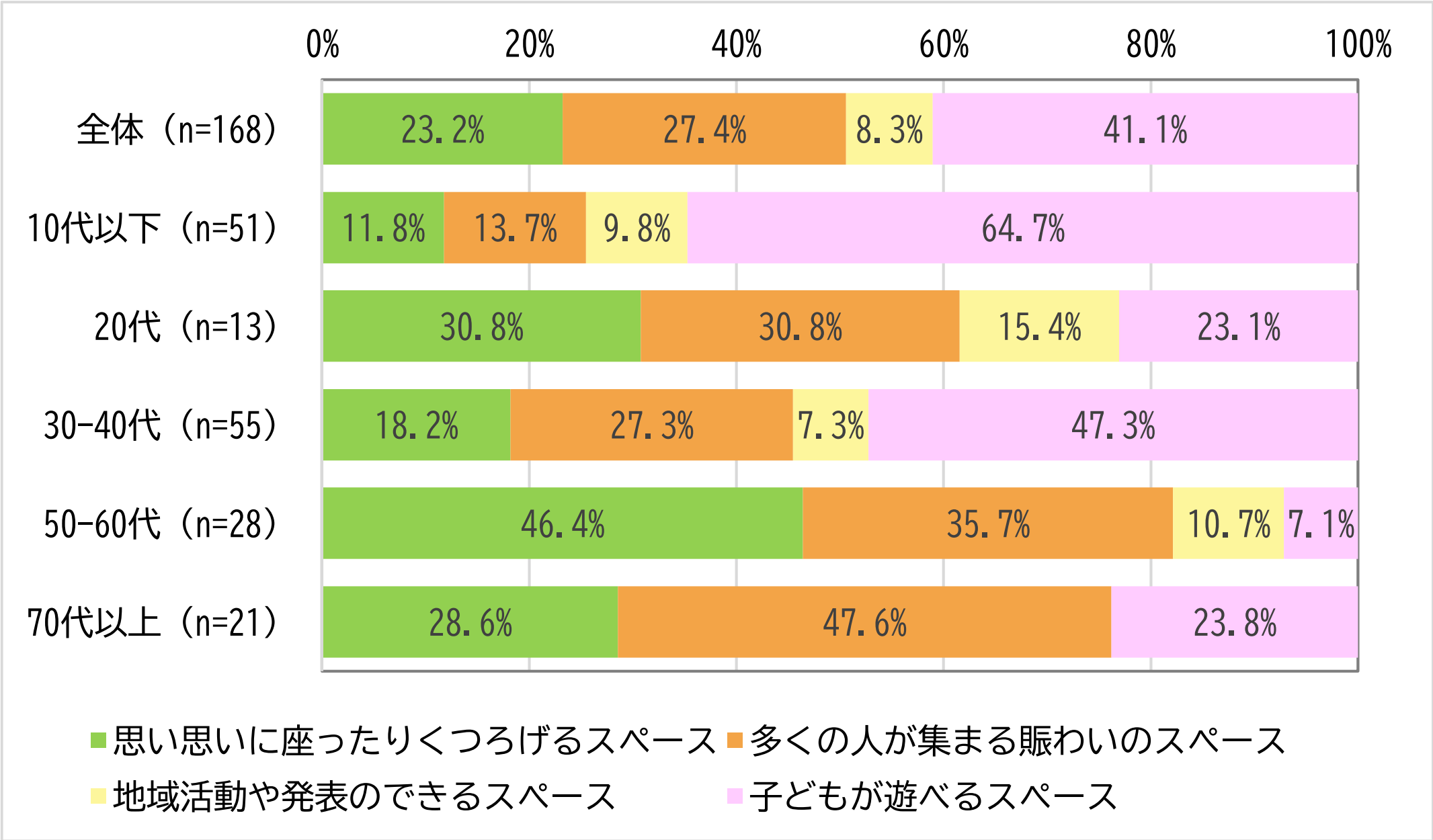


4. パネルアンケート調査結果

■Q2. 今回の社会実験を通して、豊ヶ丘複合施設周辺の屋外空間にほしい、あったら良いと思うスペース(1つ選択)

◎子どもが遊べるスペース・賑わいスペースが人気

- ▶子どもが遊べるスペースは全体で約4割と最も多く、特に子ども達やその親世代からの人気が高い。
- ▶賑わいのスペースは、70代以上で約5割と最も多く、それ以外の世代でも次点で、人気が高い。
- ▶くつろげるスペースは、50-60代で約5割と最も多く、20代や70代以上など、親子連れの方以外からの人気が高い。

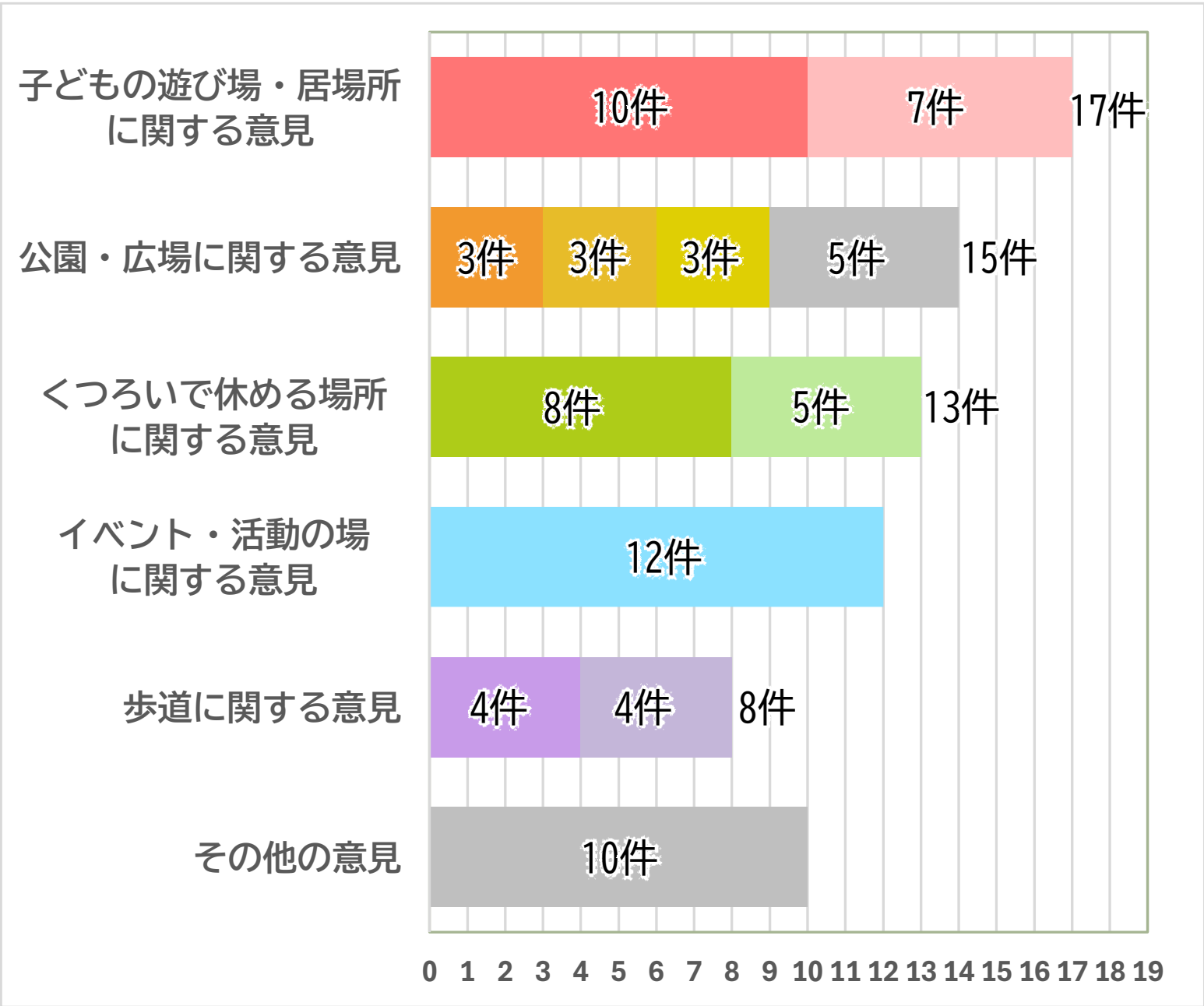


4. パネルアンケート調査結果

■Q3.今後、豊ヶ丘周辺の歩道や公園などの屋外空間を利活用するうえで、やってみたいこと、整備してほしい空間など(記述回答)

◎子どもの遊び場・居場所や滞留空間・賑わい空間の使い方に関する意見が多数
▶子どもの遊び場・居場所に関する意見のほか、公園・広場に関する意見やくつろいで休める場所、イベント・活動の場に関する意見も多かった。

項 目	件数
◎子どもの遊び場・居場所に関する意見	17 件
・子ども（10代以下）からの意見	10 件
・大人（20代以上）からの意見	7 件
◎公園・広場に関する意見	15 件
・芝生や靴を脱いで過ごせる場所	3 件
・公園の遊具	3 件
・BBQやキャンプができる場所	3 件
・その他の意見	5 件
◎くつろいで休める場所に関する意見	13 件
・椅子やベンチなどの座れる場所	8 件
・読書や飲食ができる場所	5 件
◎イベント・活動の場に関する意見	12 件
◎歩道に関する意見	8 件
・歩道の段差	4 件
・歩道の快適性	4 件
◎その他の意見	10 件



4. パネルアンケート調査結果

■Q3.今後、豊ヶ丘周辺の歩道や公園などの屋外空間を利活用するうえで、やってみたいこと、整備してほしい空間など(記述回答)

◎主な記述回答の紹介

- ▶植物や生物とふれ合える空間づくりや、屋外空間での「ちょっとした非日常感」を楽しめるイベントが多く見られる。
- ▶買い物帰りの休憩や読書できる場所へのニーズは、大人向けの空間づくりに活かせる。

●子どもの遊び場・居場所に関する意見

- ▶プレイパーク的な施設（週に数日は専門家常住）、**ビオトープ**
- ▶子どもの居場所になる所、見守る人がいるとなお良い

●公園・広場に関する意見

- ▶屋外の靴を脱いで過ごせるスペースは、**非日常感**があって嬉しい
- ▶団地の中でキャンプをしてみたい
- ▶豊ヶ丘南公園の池の浄化、**鮎や鴨に餌をやれば楽しい**
- ▶公園の遊具が古いので整備をお願いしたい
- ▶公園や商店街のトイレが暗く汚く使いづらい

●道路・歩道に関する意見

- ▶遊歩道が**古くデコボコ**でつまづく
- ▶旧豊ヶ丘中周辺の歩道スペースの整備、旧豊ヶ丘中の敷地の活用

●くつろいで休める場所に関する意見

- ▶季節の花やハーブ、野生果実、緑の空間の中にほっとできるスペース
- ▶座れるベンチがあると、買い物の帰り等に休めて嬉しい
- ▶貸出本や本を読めるスペース

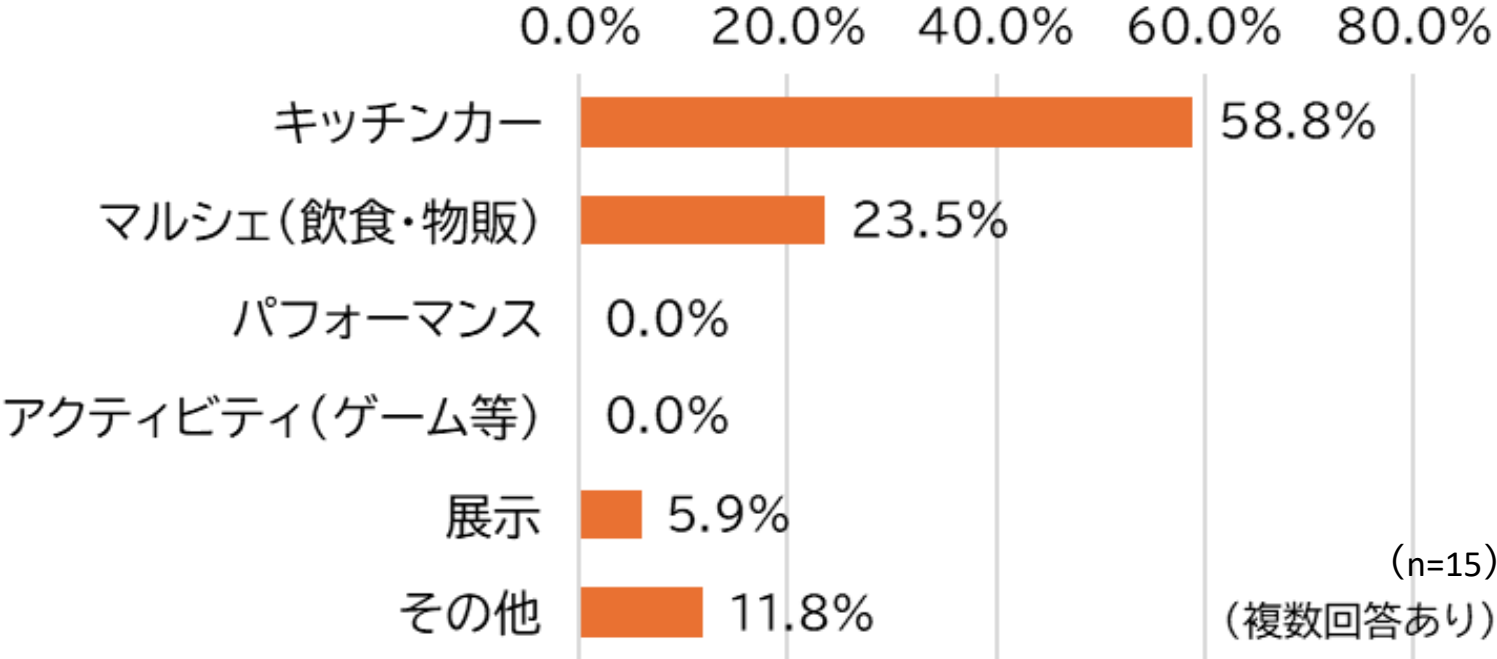
●イベント・活動の場に関する意見

- ▶**星空観察会、パブリックビューイングと音楽**
- ▶**野外カフェやピクニック、野外シネマ等のイベント**
- ▶子どもも高齢者も手先の訓練になる工作
- ▶子どもの服や本、おもちゃ等をリユースできる場所や店
- ▶住民が**外に出て触れ合える場所づくり**やイベント

5. 出店者アンケート調査結果

■Q1.ランタンフェスティバルでの出店内容(複数回答)

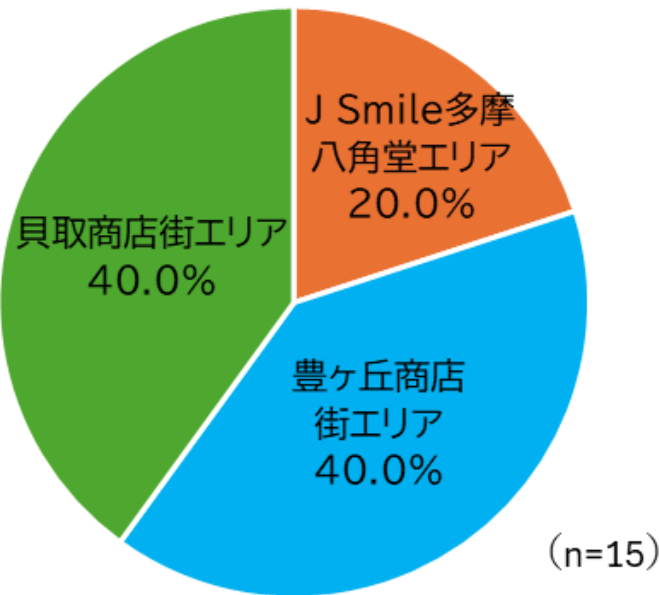
▶キッチンカー、マルシェが多くなっている。



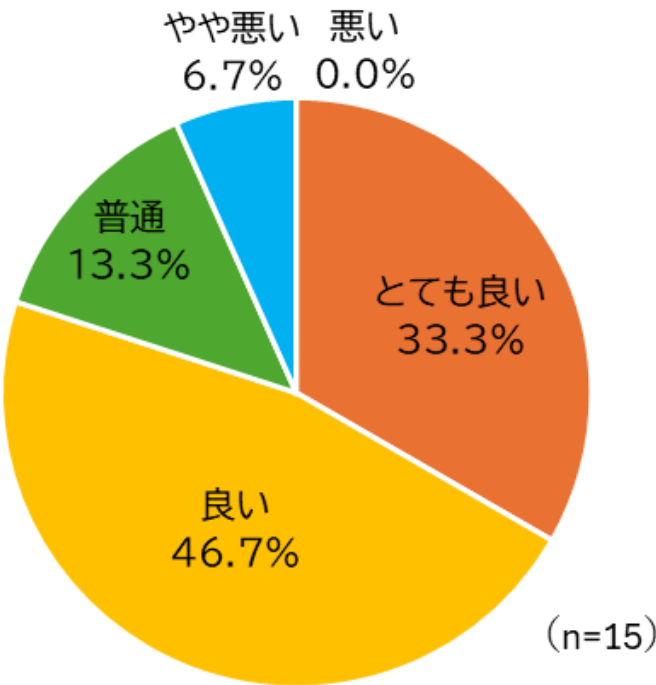
■Q2.ランタンフェスティバルでの出店場所の空間、環境

▶約8割弱が「とても良い／良い」と高評価で、幅広い客層や動線が評価されている。

2-1 出店場所



2-2 出店場所の印象



◎主な記述回答

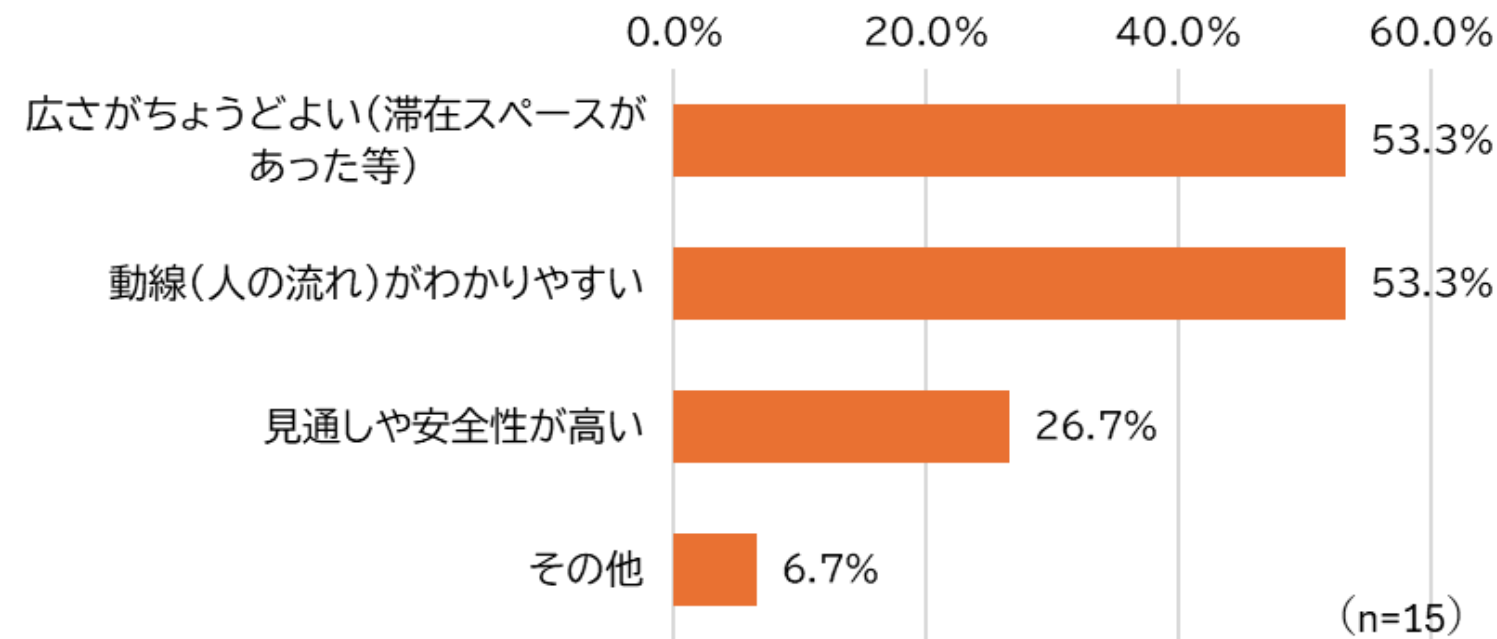
- ・ 歩車分離されて歩きやすく、古くからある商店街にまちの落ち着きを感じられる
- ・ ランタン会場まで一本道で行ける、**流れるような動線**
- ・ お子様連れや高齢の方など、**様々な客層**がある

5. 出店者アンケート調査結果

■Q2.ランタンフェスティバルでの出店場所の空間、環境

2-3 出店場所の使いやすさ

▶広さや動線の分かり易さが多く挙げられる。

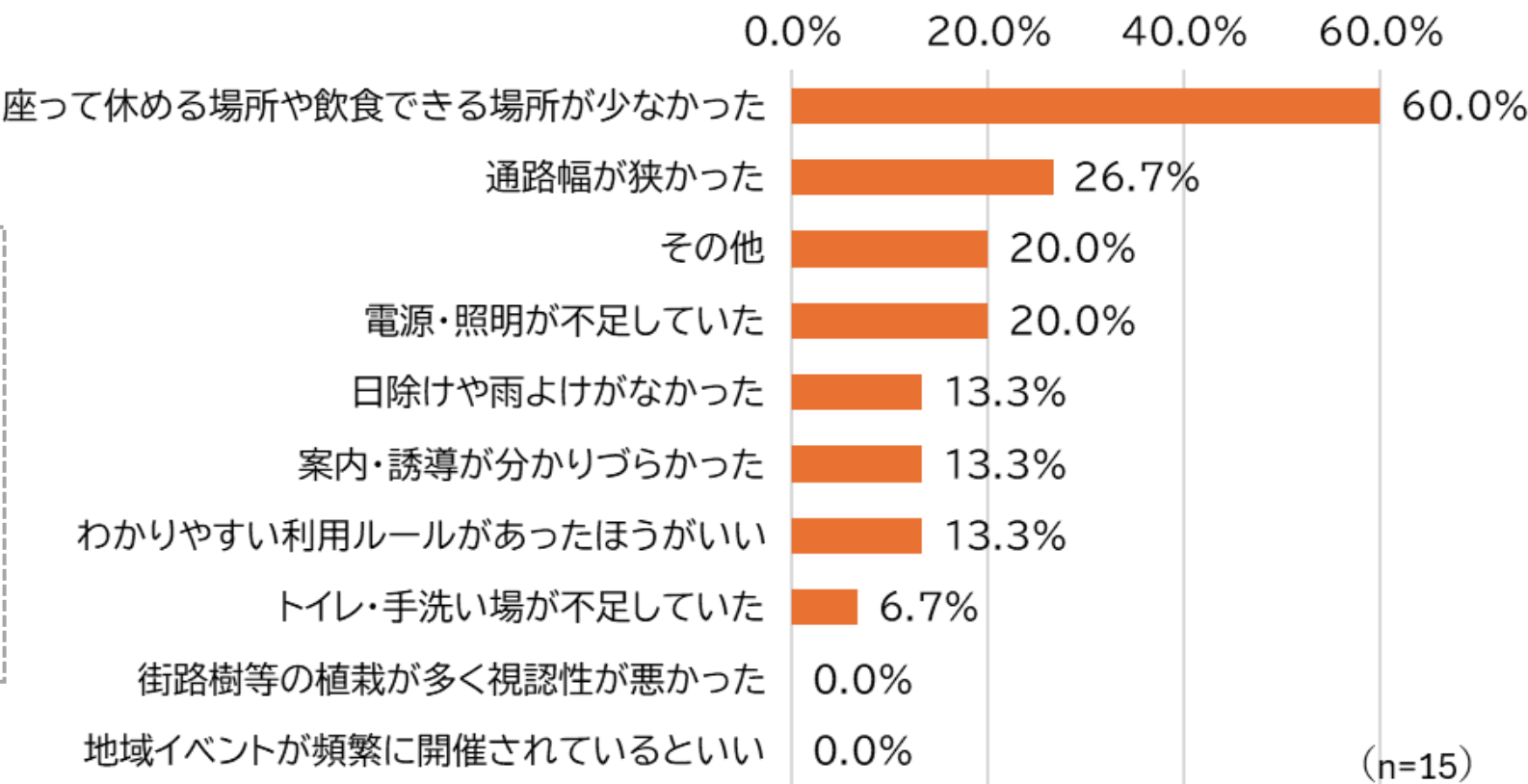


2-4 出店にあたっての環境整備の課題や改善のアイデア

▶座って休憩・飲食できる場所の確保が多く挙げられる。

◎主な記述回答

- ・食事やお酒は公園など**広いスペースを確保**すると良い
- ・夜は少し暗いので、会場で**電源の貸し出し**があると有難い
- ・**場所ごとにコンセプトを分け**、分かり易い案内を実施



5. 出店者アンケート調査結果

■Q3.今後の公共の屋外空間の活用

3-1 今回のコンテンツのうち、ご自身の出店内容と相乗効果が期待できるもの

◎主な記述回答

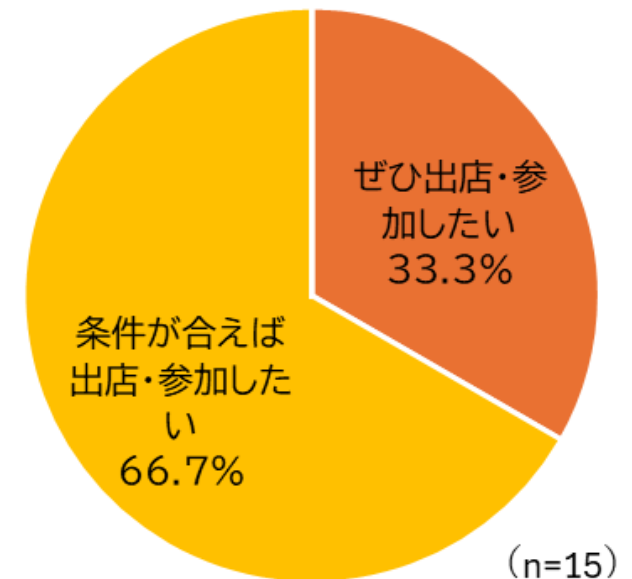
- ・ 飲食のフェスを同時開催して会場を設置
- ・ 韓国・台湾・タイ・ベトナム等のアジアンフード
- ・ BGMがあるとお祭り感がUP
- ・ 子どもから大人まで多世代を対象に、地域住民や学校等を巻き込んで出店
- ・ 数回に分けて参加型イベントを実施すると、更なる集客につながる

3-2 ランタンフェス以外でもこの出店場所で出店したいか

▶条件が合えば出店したい方が約7割

◎主な記述回答

- ・ 近隣の皆様の認知度を上げたい
- ・ 周りに集合住宅が多く人口が多いので、イベントで集客しやすい
- ・ 出店時間やイベントの詳細を考慮した上で、当店とマッチングになるイベントなら出店したい



3-3 公共の屋外空間の利活用アイデア

◎主な記述回答

- ・ 屋外は天候に左右されるので、雨天時も利用できるよう、人の導線を含めて屋根のある場所を有効に活用できれば良い
- ・ 定期的にマルシェなどのイベントを開催してほしい
- ・ 個人店舗が出店しやすいよう、自治体が一定のインフラを整備しつつ、屋外空間で食事を楽しめる月額制等の食事サービスの提供